



12月

ももぐみだより

2024年12月
社会福祉法人尚徳福祉会
おぐら保育園

舞い散る枯葉や冷たい風に、冬の訪れを感じる頃となりました。園庭には、子どもたちの寒さに負けない元気な声が響いています。今年もあと1か月を切りましたが、一人一人の体調の変化に気を付け、楽しく過ごしていきたいと思います。



園庭遊びだーいすき♪

11月は秋晴れの下で、園庭でたくさん遊びました。そのなかで人気の遊びを紹介します。

その① ままごと遊び

タイヤやマットで家や机を作り、中に入ってごちそう作りを楽しんでいます。カラフルな落ち葉や小石を見つけると、砂の上に飾り付けをしてごちそう作りもお手のものです。最近では友だちとの仲も深まり、「一緒におにぎり作ろう」「プリン食べよっか！」などとやりとりも盛んになってきています。

その② 虫探し

寒くなり、虫との出会いが少なくなってきましたが、どこにどんな虫がいるか覚えていて、木の陰でアリを捕まえたり、砂を掘って幼虫を見つけたりしています。観察しながら「小さいね♡」と可愛がる姿にほっこりします。

その③ 乗り物遊び

タイヤをバスに見立てて乗り込んだり、電車の玩具を連結して先頭車両を引っ張り、園庭を自由に走らせたりと人気が高い乗り物遊びです。友だちと並んで走らせるなかで“一緒に”遊ぶ楽しさを感じているようです。

その④ 追いかっこ

仲の良い友だちとどちらからともなく目で合図をして自然と追いかっこが始まります。「まってよー」「速いよー」と言いながら友だちとの関わりを楽しんでいます。

自分でできるよ！

自分で身の回りのことをしてみようと意欲たっぷりの子どもたち。保育者の手元を真似して着替えた衣服を畳んでみようと挑戦したり、まとめた着替えを自分のカゴに片付けたりしています。また、壁に寄りかかって立ったままズボンを履こうしたり、保育者と一緒に上服を脱いだりして、成功すると「できた」「おうちで教えてあげる」と喜んでいます。一人一人の意欲や発達に合わせて身の回りのことに興味を持てるよう声かけを工夫しています。



♡ある日のエピソード♡

ある日の園庭。子ども同士で手を繋いで散歩ごっこをしていました。何かの拍子に友だちと手が離れてしまい泣いていると、別の遊びをしていた女の子が「どうしたの？」「悲しいの？」と声をかけ、慰める優しい姿がありました。その後、「〇〇くん、手を繋ぎたかったんだって」と友だちの気持ちを代弁して保育者に知らせてくれる姿に成長と頼もしさを感じました。

